

**平成31年度 秋田県立大館鳳鳴高等学校 第2学年英語科
コミュニケーション英語Ⅱ シラバス**

1. 学習の到達目標

- ・英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけることができる。
- ・英語を通じて、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。

2. 使用教科書 ELEMMENT Communication English II (啓林館)

3. 指導計画および評価の観点

考 査	課	タイトル	内 容	学習指導要領との対照		
				(1) 言語 活動	(2) 言語活動の取扱い	
					言語の使用 場面と働き	文法事項
前 期 中 間 考 査	1	Beyond Words	<比較文化・言語> ノンバーバル・コミュニケーション	アイ ウエ	場面：a b c 働き：a b c d e	・助動詞+完了形 ・受動態の動名詞 ・付帯状況を表す with A B
	2	Stay Hungry, Stay Foolish	<生き方・スピーチ> スティープ・ジョブズの名スピーチ	アイ ウエ	場面：a b c 働き：a b c d e	・複合関係詞 ・S+V (be 動詞)+C (that 節) ・be 動詞+to 不定詞
	3	A Teenager To Change the World	<医学・生き方> 世界を変える高校生の大発見	アイ ウエ	場面：a b c 働き：a b c d e	・動名詞の意味上の主語 ・疑問詞+ do you think + (S)' +V'? ・未来進行形
前 期 期 末 考 査	4	Life in a Jar	<平和・人権> 2,500人のユダヤ人を救った 命のリスト	アイ ウエ	場面：a b c 働き：a b c d e	・完了形の受動態 ・さまざまな分詞構文
	5	Space Debris	<宇宙・環境> 宇宙のごみ問題を解決しよう	アイ ウエ	場面：a b c 働き：a b c d e	・接続詞+分詞 ・二重否定 ・部分否定
	6	Caddy for Life	<友情・人間愛> ゴルフが結んだ友情 命をかけたキャディー	アイ ウエ	場面：a b c 働き：a b c d e	・独立分詞構文 ・関係副詞の非限定用法

考 査	課	タイトル	内 容	学習指導要領との対照		
				(1) 言語 活動	(2) 言語活動の取扱い	
					言語の使用 場面と働き	文法事項
後 期 中 間 考 査	7	iPS Cells	<医学・科学> 世紀の大発見 iPS細胞とは	アイ ウエ	場面：a b c 働き：a b c d e	・不定詞の意味上の主語 ・ifを省略した仮定法 ・同格の that
	8	Selective Breeding	<動物・科学> 犬の品種改良の長所と短所	アイ ウエ	場面：a b c 働き：a b c d e	・仮定法の慣用表現 ・完了形の動名詞 ・強調構文
後 期 期 末 考 査	9	The Vancouver Asahi	<スポーツ・人権> 伝説の野球チーム バンクーバーの朝日	アイ ウエ	場面：a b c 働き：a b c d e	・whatを用いた強調 ・無生物主語 ・倒置
	10	Euglena	<環境・科学> ミドリムシが世界を救う?! 0.05mmの挑戦	アイ ウエ	場面：a b c 働き：a b c d e	・複合関係詞 however ・if節に相当する表現 ・未来完了形

注：学習指導要領との対照

(1) 言語活動

ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。

イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。

ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。

エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。

(2) 言語活動の取扱い

[言語の使用場面]

a 特有の表現がよく使われる場面

b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面

c 多様な手段を通じて情報などを得る場面

[言語の働き]

a コミュニケーションを円滑にする

b 気持ちを伝える

c 情報を伝える

d 考えや意図を伝える

e 相手の行動を促す